

# 「ご飯茶碗の向こう側」 ～お米から考えるSDGs～

氏名：三本松 由里子

学校名：宮城県立角田支援学校

担当教科：総合的な学習の時間

実践教科：総合的な学習の時間

時間数：4時間

対象学年：高等部1年生

人数：19名

## 【実施概要】

### 【1】単元のテーマ・目標：

「ご飯茶碗の向こう側」 ～お米から考えるSDGs～

(お米を通して日本と外国の違いを知るとともに、関連するSDGsについて考え、努力目標を立てる)

【2】 単元の 評価規準例	(ア) 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・フィリピンと日本の共通点や相違点を見つけようとする</li><li>・自国と異なる文化を知り、受け入れようとする</li></ul>
	(イ) 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の生活を振り返り、良いところと課題について考える</li><li>・課題を改善するために何をすべきか考え、目標を立てる</li></ul>
	(ウ) 技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニケーションスキルを身に付ける</li></ul>
	(エ) 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"><li>・フィリピンとはどのような国なのか現状を知る</li><li>・学級の友達のルーツを知る</li></ul>
【3】 単元設定の理由 (児童/生徒観、 教材観、指導観)	【生徒観】 高等部1学年には、男子12名、女子7名、計19名の生徒が在籍している。障害の種類は様々であるが、全員が知的障害を有しており、中には自閉症を併せ有する生徒もいる。本校中学部から進学した生徒と、各市町村立の中学校から高等部へ入学した生徒がおり、それぞれの実態差が大きいという特徴がある。  授業中は、一斉指導で理解できる生徒もいれば、個別に支援する必要がある生徒もいる。言葉でやりとりができる生徒、単語を並べて話そうとする生徒、身振りなどの体の動きで意思を伝達しようとする生徒など表現方法はそれぞれ異なる。合理的配慮の観点から、障害の特性に合わせて視覚支援を多く取り入れるなど、コミュニケーション面における個別の配慮を行っている。また、運動面では、将来の就労に耐え得る丈夫な体作りを目指して、ほとんどの生徒が毎日学校の周りを約5km走っているが、中には既往症のために運動制限が掛かっている生徒もいる。日々の活動を通して、生徒の学力、コミュニケーション力、体力が高まるよう個別の支援を行っている。	

【教材観】

高等学校学習指導要領総則の〔総合的な学習の時間〕の目標に、『横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する』ことが示されている。この目標を受け、本単元では国連のSDGs（持続可能な開発目標）の学習を通して、自分自身を振り返り、卒業後に社会人としてどのような目標を持って長い就労生活を送っていくのか、また、今の自分に何ができるのかを考えさせたい。また、偏食傾向の生徒が多いことから、私達の主食である米を切り口にこれまでの食生活を見直し、自分の健康や世界の食糧事情のために自分がどうすべきか考える契機となるよう授業を進めていきたい。

【指導観】

それぞれ異なる知的障害の特性を持つ生徒に対して指導を行うにあたり、以下の点について学習支援の工夫を行う。

- ①障害の特性に配慮し、食品の実物やスライドなどを使って視覚的に支援を行う。
- ②楽しく学習に参加できるように、ダンスや試食などの体験を取り入れる。
- ③踊るスピードを徐々に速くできるように、テンポの異なる三拍子の楽曲を用意する。
- ④生徒の実態に応じて選べるように、努力目標設定用のプリントを数種類用意する。

【4】展開計画（全 4 時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	<テーマ> ・フィリピンを知ろう Part①  <ねらい> ・日本語、英語以外にも言語があることを知り、発音してみる。 ・フィリピンの町の風景を見て建物や乗り物等、日本と似ているところや異なるところを見つける。	◎フィリピンクイズ（3択） ・国旗、首都、大統領、島の数  ◎映像を使って現地の様子を実際に見る。フォトランゲージの手法で考えさせる。 ・ジプニー、トライシクル、交通渋滞 ・学校の施設、児童生徒、授業風景 ・都市部と地方部の町の様子  ◎タガログ語の挨拶と手遊び ・「こんにちは」「ありがとう」を言う。 ・「頭、肩、膝ポン」の歌を、身振りを付けながらタガログ語で歌ってみる。曲の中に「目、鼻、耳、口」も出てくる。	・ホワイトボード ・マーカー ・ラミネート加工した拡大写真 ・パソコン ・Power Point 資料 ・プロジェクター ・スクリーン

<p>2</p>	<p>&lt;テーマ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピンを知ろう Part②</li> </ul> <p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や動画を見ることで訪れたことのない国の風景や音を感じ取る。</li> <li>・長粒種と短粒種のお米があることを知る。</li> <li>・フィリピンの民族舞踊を知る。実際に踊ってみることで、盆踊りなどの日本固有の舞踊との違いを体感する。</li> </ul>	<p>◎タガログ語の挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に学習したタガログ語で挨拶する。</li> </ul> <p>◎フィリピンのイメージは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を見た印象を数人が発表する。</li> </ul> <p>◎「おしえて！りえせんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の海外研修参加者の佐藤里絵教諭が見たフィリピンについてお話をいただく。</li> </ul> <p>◎フィリピン紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピン人の母を持つ生徒Aさんに、フィリピンについて自由に語ってもらう。話が滞ってしまう場合は、Q &amp; A形式で教師がAさんから答えを引き出す。</li> </ul> <p>◎フィリピンの民族舞踊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バンブーダンスの映像を見て、生徒も踊る。</li> <li>・まずは床に座って足だけを動かし、3拍子のズンチャッチャのリズムで足を鳴らしてみる。座ってできたら立ってやってみる。それもできたら、スズランテープ→ゴムの順に跳んでみる。</li> <li>・教師が竹でデモンストレーションを見せる。</li> <li>・生徒も挑戦する。竹を怖がる生徒は、ズンチャッチャの3拍子ではなく、2拍子や、ジャンプして飛び越えるだけに変更してもよいこととする。</li> <li>・生徒に感想を言わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード</li> <li>・マーカー</li> <li>・ラミネート加工した拡大写真</li> <li>・パソコン</li> <li>・Power Point 資料</li> <li>・プロジェクター</li> <li>・スクリーン</li> <li>・感想&amp;メモ用紙</li> <li>・音楽資料 (PC)</li> <li>・竹2本</li> </ul>
<p>3 本時</p>	<p>&lt;テーマ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピン文化を体験しよう</li> </ul>	<p>◎タガログ語の挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に学習したタガログ語で挨拶する。</li> <li>・以前扱った「頭・肩・膝ポン」で鼻はタガログ語で「イロン」と言うことをおさらいする。鼻といえばぞうさん→ぞうさんといえば三拍子→三拍子といえばバンブーダンスですね！の流れでダンスに移行し、ウォームアップ。</li> <li>・まずは床に座って足だけを動かし、3拍子のズンチャッチャのリズムで足を鳴らしてみる。座ってできたら立ってやってみる。それもできたら、スズランテープ→ゴム→竹の順</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード</li> <li>・マーカー</li> <li>・ラミネート加工した拡大写真</li> <li>・パソコン</li> <li>・Power Point 資料</li> <li>・プロジェクター</li> <li>・スクリーン</li> <li>・感想及びメモ用紙</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピンの農業について知ろう</li> </ul> <p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピンを始め、世界の多くの人々が食べている長粒種の米を味わう。</li> <li>・自分でおにぎりを握ることで、長粒種の特徴を知り、米の種類に適した調理法や食べ方があることを知る。</li> <li>・生活経験を増やす。</li> </ul>	<p>◎フィリピンの伝統舞踊体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がバンブーダンスを踊る。教師2名が竹を持ち、三拍子の音楽に合わせて動かす。上手な生徒はアップテンポで。</li> </ul> <p>◎お米のはなし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インディカ米とジャポニカ米の画像をパワーポイントで見ると見る。世界の米食文化をもつ国の80%が長粒種の米を食べていることを知る。長粒米に適した調理法や日本との食べ方の違いなどについても知る。</li> </ul> <p>◎長粒米（インディカ米）の試食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各テーブルに1口分のごはんが乗ったスプーンを用意し、温めたレトルトカレーを置く。生徒が各自スプーンに乗ったごはんをカレーにディップして試食する。カレー以外にごま塩やふりかけも用意しておく。</li> <li>・教師がラップでミニおにぎりを握り（長粒米・短粒米）粘り気の違いを見せる。</li> <li>・日本の米は炊飯器、タイ米は湯取り法で加熱したものをあらかじめ用意しておく。</li> <li>・シニガンスープを作っておき小カップで配る。（苦手な生徒は無理して食べなくてもよい）</li> <li>・世界にはいろいろな食べ物があることを知る。</li> <li>・食べ慣れたものはおいしく感じることを知る。例えば、カレーやスパゲッティも最初は日本人に馴染まなかったが、今では国民食となっている。シニガンスープも幼少期からずっと食べていけばおいしく感じるはずである。</li> <li>・気候風土に合った味（酸が腐敗菌の増殖を抑制。酸味は暑さで減退した食欲を増進。）</li> <li>・いろいろな食べ物を食べてみることは楽しいことだと印象付けるような雰囲気の中で進める。</li> <li>・食べた感想を生徒に言わせる。</li> <li>・日本は年間約620万tもの残食を廃棄していることをパワーポイントで見せて問題提起し、次時につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インディカ米</li> <li>・ジャポニカ米</li> <li>・ボウル7個</li> <li>・しゃもじ7個</li> <li>・カップ26個</li> <li>・サランラップ</li> <li>・塩 or ごま塩</li> <li>・ウエットティッシュ</li> <li>・ふきん</li> </ul>
--	---	---	--

<p>4 本時</p>	<p>&lt;テーマ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界中のみんなが幸せになるには</li> <li>・自分にできることを考えよう</li> <li>・日常生活の中で自分ができていることをやってみよう</li> </ul> <p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活を振り返る。</li> <li>・SDGsについて知る。</li> <li>・日々の生活の中で、いつでもすれば目標に迫ることができるか考える</li> <li>・自分で目標を立てる。</li> </ul>	<p>◎タガログ語の挨拶</p> <p>◎SDGsを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントとプリントを使って、加盟国が2030年までに達成したい国連の開発目標と日本の達成状況を知る。</li> </ul> <p>◎持続可能な開発を妨げる地球規模の諸問題について知り、自分にできることを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物の話題をきっかけに、飢餓、貧困、教育、経済成長などの地球規模の問題は、SDGsのどの目標と関連するかを知る。</li> <li>・自分の生活で見直せるところはないか (夜更かしによる不健康、好き嫌いによる残食、資源の無駄遣いなど)</li> </ul> <p>◎個人目標を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs (持続可能な開発目標) の表を掲示し、地球市民として私たちがすべきことを考えて個別に自分の努力目標を設定する。</li> <li>・数人のグループに分かれてそれぞれの個人目標を発表し、互いに感想を述べ合う。</li> <li>・教室全体で意見を共有する。</li> <li>・目標と達成に向けた行動については、授業終了後も定期的に確認し定着を図る。</li> <li>・最後に、学校に通えることがいかに恵まれていることなのに気付くようなエピソードを紹介して授業を終了する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード</li> <li>・マーカー</li> <li>・ラミネート加工した拡大写真</li> <li>・パソコン</li> <li>・Power Point 資料</li> <li>・プロジェクター</li> <li>・スクリーン</li> <li>・感想&amp;メモ用紙</li> <li>・音楽資料 (PC)</li> <li>・竹2本</li> </ul>
-----------------	---	--	---

【5】 本時の展開			
過程・時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	1. タガログ語で挨拶をする。 2. 前時の学習内容を振り返る。 3. 本時の目標を知る。 4. 本時の流れを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タガログ語の挨拶の仕方を忘れてしまった生徒には、T2～T7 が言葉を掛けて支援する。</li> <li>・ あまり時間を掛けずに振り返る。</li> <li>・ 本時の目標を確認する。</li> <li>・ 本時の授業の流れを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホワイトボード</li> <li>・ マーカー</li> <li>・ ラミネート加工した拡大写真</li> <li>・ パソコン</li> <li>・ Power Point 資料</li> <li>・ プロジェクター</li> <li>・ スクリーン</li> <li>・ 感想&amp;メモ用紙</li> <li>・ 音楽資料（PC）</li> <li>・ 竹2本</li> </ul>
展開 (40分)	5. アイスブレイキング ・ バンブーダンス  6. 主食である米について知る。  7. インディカ米を試食する。  8. 気付いたことや感想をメモしてお互いの考えを共有する。  9. SDGs を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バンブーダンスの映像を見てやり方を思い出す。教師がデモンストレーションを見せた後、生徒が順番に踊り、全員が1回はチャレンジするよう促す。</li> <li>・ 慣れてきたら曲のテンポを上げる。運動が得意で覚えが早い生徒も同様。</li> <li>・ スクリーンに長粒種と短粒種の米を映し、フィリピン産か日本産かを質問する。品種ごとに調理法等を紹介する。</li> <li>・ 粘り気の少ない長粒米で塩むすびを作って食べてみる。</li> <li>・ カレーをかけて食べてみる。</li> <li>・ 長粒米がチャーハンや汁物と一緒に食べるのに適していることを知る。</li> <li>・ 生徒の感想発表</li> <li>・ 感じたことをメモしておく。</li> <li>・ 国連加盟国が持続可能な開発を目指して取り組んでいる 17 の目標があることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコン</li> <li>・ プロジェクター</li> <li>・ スクリーン</li> <li>・ 感想用紙</li> <li>・ メモ用紙</li> <li>・ ご飯スプーン</li> <li>・ レトルトカレー</li> <li>・ 塩 or ごま塩</li> <li>・ ふりかけ</li> <li>・ ポリエチレンラップ</li> </ul>

<p>まとめ (5分)</p>	<p>10. 地球規模の課題にはどのようなものがあるかを知り、解決法などについて考える。</p> <p>11. 個人目標を決めてプリントに記入する。</p> <p>12. 少人数グループで話し合う</p> <p>13. 感想を発表する。</p> <p>14. 今日のまとめをする。</p> <p>15. 次時の予告を聞く。</p> <p>16. 挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物話題をきっかけに、飢餓、貧困、教育、経済成長などは互いに関連していることを知る。</li> <li>・自分の生活で見直せるところはないか考える。 (夜更かしによる不健康、好き嫌いによる残食、資源の無駄遣いなど)</li> <li>・目標の紙にもSDGsを印刷しておく。</li> <li>・書くのが遅い生徒や何を書けばよいか分からない生徒がいる場合は、T2～T7が個別に支援を行う。</li> <li>・近くの席の友達とどんな目標にしたかその理由も述べ合う。</li> <li>・学習の感想をプリントに書き、数名に発表させる。(T1)</li> <li>・教師が生徒の発表から気づきをまとめ、今日の学習のねらいを振り返る。</li> <li>・次時はクラスごとに分かれ、目標に対する到達度や取り組みなどについて発表することを予告する。(T1)</li> <li>・しっかりと挨拶するよう促す。(T1)</li> </ul>	
---------------------	---	--	--

【授業実践の様子】



フィリピンで生産されているものと同種の長粒米(インディカ米)を初めて試食する生徒の様子



長粒米(フィリピンの米)と短粒米(日本の米)について気付いたことを話し合う生徒の様子

③



自分で選んだ SDGs を達成するための個人目標について、挙手して発表している生徒の様子

#### 【6】 本時の評価

外国の生活や文化に触れて自国との共通点や相違点を知り、自分と異なる環境で生活している相手を尊重したり一緒に問題を解決しようとしたりする態度が見られた。

#### 【7】 単元を通じた児童生徒の反応/変化

##### ①授業中の生徒の反応/変化

フィリピンで食される長粒米の試食の時間に、教師は普段食べ慣れた短粒米のほうがおいしいという感想が出るだろうと予想し、長粒米をおいしくするためにカレーをかけて食べさせることを検討していた。しかし、長粒米を白飯のまま試食した生徒たちは「フィリピンの米も日本の米も両方おいしい。」と答えた。教師の杞憂をよそに、生徒の中では異文化を受け入れ、違いを尊重する心が育っていた。

##### ②生徒が立てた個人目標から読み取る反応/変化（生徒のワークシートより抜粋）

###### 1. SDGs「3 すべての人に健康と福祉を」を達成するための個人目標

- ・夜9時以降は寝る
- ・早寝早起きする
- ・バランスのとれた食事健康を保つ

###### 2. SDGs「4 質の高い教育をみんなに」を達成するための個人目標

- ・テレビを消して集中し効率よく勉強する
- ・先生や友達の話をよく聞く

###### 3. SDGs「12 つくる責任 つかう責任」（特に食品廃棄に関して）を達成するための個人目標

- ・賞味期限／消費期限内に食べ切れる物だけ買う
- ・好き嫌いをせず、出されたものは頑張って全部食べる
- ・味付け、調理法、保存法を工夫して食品を捨てないようにする

<p><b>【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】</b></p> <p>フィリピンの人々の暮らしを紹介する際に、バンブーダンス体験や長粒米の試食など、実際に参加して体験する機会を設定したことで、日本と外国の違いを受容し、尊重しようとする姿を見ることができた。</p> <p>また、授業の中で食糧問題について触れると、好き嫌いをなくして何でも食べることで廃棄量を減らそうとする生徒が出てきた。給食の時間に「〇〇さん、野菜も食べようね。」と互いに声を掛け合うなど、問題を自分のこととして捉え、解決に向けて一歩踏み出そうとする態度が見られるようになった。</p>
<p><b>【途上国・異文化への意識の変容】</b></p> <p>(授業前)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途上国は何となく遠い存在で、自分とは関わりのない国のような気がしていた。</li> <li>・途上国は車やビルがほとんどないというイメージを持っていた。</li> <li>・フィリピン人の主食はバナナだと思っていた。</li> <li>・「日本では外国人や異文化に触れる機会があまりない。海外旅行にも興味がない。」と話す生徒がいた。</li> </ul> <p>(授業後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「バンブーダンスと和太鼓演奏などお互いの文化を紹介し合って交流してみたい。」と言う生徒が出てきた。</li> <li>・「日本以外にもお米を主食とする人たちがいて親近感が湧いた。」という感想を書いた生徒もいた。</li> <li>・「フィリピンの人々は家族の結び付きが強いところが日本人と似ている。」と感じた生徒がいた。</li> <li>・「授業を通してフィリピンに興味を持った。いつか行ってみたい。」と話す生徒が数名いた。</li> <li>・SDGsを知り、個人目標を立てると、地球の課題を自分に関係のあることと思えるようになってきた。</li> </ul>

**【8】 自己評価**

<p>苦勞した点</p>	<p>学級内にフィリピン人の生徒がいるため、路上生活者の貧しさや、衛生面に課題が残る場所の写真を多用して他の生徒たちに偏った印象を与えてしまうことのないよう、映像資料を厳選して慎重に授業を行った。途上国に対する既成概念を払拭するために、都市の中で開発が進んでいる地域の画像を見せたり、地方部で家族の絆を大切にしながら笑顔で暮らす人々の写真を見せたりした。また、富と貧困、便利さと不便さ、日本との共通点と相違点など対照的な被写体を使って、急速な成長を続けるフィリピン社会の光と影をバランスよく伝えることを心掛けた。</p>
<p>改善点</p>	<p>今回の授業の改善点はSDGsの扱い方である。SDGsの目標は17個もあるので、この題材は自分で考える時間と意見を交換する時間を十分に確保できる別の機会に行ったほうがより理解を深めることができたのではないかと思った。本時はお米の話題から始まっているので、フィリピンの農業、児童労働、世界の食糧問題などの食に関する話題を中心に生徒の考えを引き出し、授業の最後に「毎日学校に行って勉強したり友達と遊んだり給食を食べたりすることができるのは、決して当たり前のことではない。学ぶ機会を大切にしなければならない。」ということに気付かせて終結するような授業構成に変更して再度実施してみたい。</p>

<p>成果が出た点</p>	<p>SDGs についての生徒の理解度は不十分かもしれないが、持続可能な社会の実現のために世界中の人々が手を携えて取り組むべき目標があることを知り、日常生活の中で自分ができることを考えて実践するようになったという点が一番の成果である。壮大な地球規模の課題を噛み砕いて説明し、生徒の身近にある事象と結び付けて考えさせたことで、他人事から自分事へと視点が変わり、状況の改善に向けての第一歩を踏み出すことができたと考える。</p>
<p>備考（授業者による自由記述）</p>	<p>本単元の学習を通して、一緒に学校生活を営んでいる生徒の出身国であるフィリピンについて学んだことで、今まで以上に友達を尊重しようとする雰囲気醸成され、学級内の連帯感が強くなった様子が窺われる。長粒米の試食時には、「日本の米もフィリピンの米もどちらもおいしい。」という感想がほとんどであり、食べ慣れた日本の米のほうがおいしいと言う意見は出なかった。生徒には違いを受容しようとする態度や新しいことに順応する力が備わっており、自分とは異なる相手を尊重しようとする心も持っていることが分かった。また、SDGs を扱った際には、難しい課題にもかかわらず、自分なりの努力目標を設定し、実生活の中で取り組むという、予想以上の実行力を見出すことができた。授業の構想を練る段階では、もっと易しい内容にしたほうがよいのではないかと悩んだが、思い切って取り組ませたところ、それがむしろ深く考えさせるきっかけとなり、生徒たちの潜在的な力を引き出すことにつながったと感じている。生徒の力を過小評価し過保護になってしまうと成長の機会を逃してしまいかねない。今後も題材を吟味し、適切な支援を加えながら、生徒の考える力や課題解決の力を最大限に伸ばしていけるよう、教師としてのスキルアップを図っていかなければならないと実感した授業実践であった。最後に、このような貴重な研修の機会を与えてくださった JICA スタッフの皆様方や国内外で我々を温かく受け入れてくださった関係機関の方々、そしてフィリピンで出会った全ての方々に感謝の意を表したい。</p>

添付資料：

【資料1】 パワーポイント（抜粋）

【資料1】 パワーポイント（抜粋）



水と衛生的な環境をきちんと管理して、だれもが水と衛生的な環境を得られるようにする

はみがきのあいだは？



きれいな飲み水を守る



価格が安くて、安定して発電でき、持続可能で近代的なエネルギーをすべての人が使えるようにする

へやにいないときは？



しぜんのかでせいかつする



持続可能な方法で生産し、消費する

おいしく残さず食べきろう！



食糧不足の地域では、1分間に17人が飢餓で亡くなっています

【資料2】ワークシート

自分の生活を見直して目標をたてよう

高等部 1 学年 組 氏名 \_\_\_\_\_

チェックシート

・夜ふかししている ○ ×

(目標: \_\_\_\_\_)



・水をむだづかいする ○ ×

(目標: \_\_\_\_\_)



・好き嫌いをして食べ物を残す ○ ×

(目標: \_\_\_\_\_)



・( ) ○ ×

(目標: \_\_\_\_\_)

・勉強に集中していない ○ ×

(目標: \_\_\_\_\_)



<感想> 今日の授業を通して分かったことや感じたことを書きましょう。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

参考資料：

2017 年度教師海外研修報告書

開発教育教材「コーヒーカップの向こう側」(開発教育協会)